

月刊 やちまなこ

2022. 7.15 発行

No.296

7月号

釧路湿原国立公園 塘路湖エコミュージアムセンター（あるこっと）だより



暦の上では夏に入った釧路湿原だが、7月に入っても、どうも、すっきりしない天候が続いている。

繁殖期を終えた野鳥たちの中には、どこか幼い表情をみせる巣立ったばかりの幼鳥を方々で見かけるようになった。

霧の深い湿原の林道をゆっくりと進んでいくと、傍らの叢から視線を感じた。そこには、どこか好奇心と怯えが入り混じった表情の子狐が、こちらをじっと見つめていた。



塘路フィールドノート【6/15～7/14】

【野鳥】

子育てを終えた親鳥は口に餌を携えて、幼鳥の巣立ちを促している。月初はあどけない表情をしていた、アオサギコロニーの若鳥も、親鳥と見紛うばかりに成長してきた。



クマゲラ (塘路湖畔)

塘路では珍しいキツツキの仲間。近寄っても動じず、切り株の虫を食べていた。



ベニマシコ (サルルン沼周辺)

サルルン沼でよく見かける野鳥。道端のハコベ類の種子を食べていた。



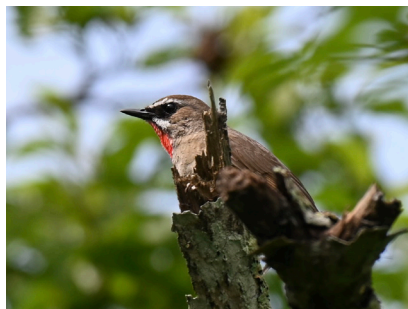
ヨシガモ (塘路湖)

番いで過ごしていた。水面に茂ってきた水草などを食べているようだ。



コヨシキリ (サルルン沼周辺)

なんとも複雑な囀りを披露する。囀っている時がシャッターチャンスかもしれない。



ノゴマ (サルルン沼周辺)

立ち枯れの上で周りの様子を伺っていた。塘路湖周辺では比較的珍しいヒタキの仲間。



アオサギ (塘路湖畔)

もう親鳥とほぼ同じ大きさに育った若鳥。冠羽が伸びれば成鳥となら変わらない。

【植物】

7月に入り悪天候が続いているが、夏の花は静かに咲き誇っています。花は花粉を遠くへ運ばせるため、多くの昆虫を集めていました。このような情景を観ると、植物と昆虫の共生関係を実感します。



エゾノレンリソウ（蝦夷連理草）
透明感のある涼しげなマメ科の花。ホザキシモツケなどの袂にひっそり咲いている。



トキソウ（朱鷺草）
高層湿原帯にひっそりと咲く美しいランの花。



ハシドイ（丁香花）
ライラックと同じモクセイ科の花。この花が咲くと、森の中はよい香りに包まれる。



エゾスカシユリ（蝦夷透百合）
夏の道端を彩る代表的な花。海岸から湿原まで、幅広い環境で咲く。



ホザキシモツケ（塘路湖畔）
夏の湿原を代表する美しいピンク色の花。蝶やカミキリムシにとって欠かせない存在。



クサフジ（草藤）
悪天候が続く中、低い位置に咲く花は、蜂や甲虫など多くの昆虫を集めていた。

【昆虫】

夏の塘路湖畔はトンボの季節。ヤンマやサナエをはじめイトトンボ類も多く飛び交っていた。水辺では水生昆虫が繁殖を終え、湿原の枯れ木にも繁殖に訪れた甲虫の姿が多く観られた。



ミヤマクワガタ（塘路）
ハルニレの樹液で、オスがメスをガードしていた。外敵ではなく同種の雄を近づけない。



コオイムシ（塘路湖畔）
雄は名前の通り、背中に卵を産みつけられる。7月中旬には幼体も確認された。



キンヘリタマムシ（釧路湿原）
伐採木に飛来したタマムシの仲間。陽の光を受けた金緑色の光沢が美しい。

◎カラフトタカネキマダラセセリ

北海道でも道東に多いとされるセセリチョウの仲間。蝶の専門家からは「カラタカ」という愛称で親しまれている。それはあまりにも長い和名に原因があるようだ。カラフトタカネキマダラセセリは、塘路湖周辺でも少なからず生息しているが、他のセセリのように水溜まりには来ず、尾根筋の花にポツリポツリと確認された。地味なセセリチョウの中にあって、綺麗種の名を欲しいままにしています。



カンボクに来たカラタカ

◎土器縄文時代の土器作りを体験

7月2日は縄文土器作り講座を開催しました。始めに塘路湖畔の遺跡から出土した土器、黒曜石から削り出した矢じりなどが紹介され、当時の作り方や、生活にどのように使われていたのか、また、土器にも当時流行りのデザインがあったことなど、埋蔵文化の面白さについて解説がなされました。

縄文時代の作り方に沿って、円盤状の底に紐状粘土を輪積みしてならしていく工法で土器作りは進められました。午後からは、土器の様子がどのように描かれたのか、道具についても学び、参加者が想い想いのデザインで作っていきましました。出来上がった土器は、1ヶ月ほどの陰干しを経て、8月の野焼きを経て完成します。
参加者 8名



8月の自然ふれあい行事

事前の申込が必要です。

夏休み 釧路湿原キノコ観察会

[日 時] 8月6日(土) 10時～12時

[定員・参加料] 10名 無料

[開催場所] 茅沼 蝶の森

(集合場所は シラルトロ自然情報館 駐車場)

◎申込・問い合わせは塘路湖エコミュージアムセンターまで

夏休み！外来植物を探そう

[日 時] 8月7日(日) 10時～12時

[定員・参加料] 10名 無料

[開催場所] 温根内ビジターセンター

◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンター
(0154-65-2323) まで

夏休み！ザリガニウォッチング

～ウチダザリガニ編～

[日 時] 8月21日(日) 10時～12時

[定員・参加料] 10名 無料

[開催場所] 温根内ビジターセンター

◎申込・問い合わせは温根内ビジターセンターまで

◆日出・日入時間 7/15(3:54,19:00).7/30(4:09,18:47).8/14(4:25,18:27)

～編集後記～

■7月に入り暑い夏がやってくるかと思えば、悪天候が続き夜は肌寒い日さえある。体調の管理は難しい。そんな中カヌーやキャンプで訪れる人たちも増え、塘路湖は本州からの利用者さんも増えてきた気がする。一方で、道内のコロナの新規感染者はなかなか減らないようです。

自然ふれあい行事など、コロナ感染には細心の注意を払いますが、館内利用の際にも、引き続きコロナ感染対策に、ご理解ご協力をお願いします。

釧路湿原国立公園

塘路湖エコミュージアムセンター あること

☎ 088-2264 北海道川上郡標茶町塘路原野
TEL: 015-487-3003 FAX: 015-487-3004
E-mail: emc@hokkai.or.jp

Instagram  torokoemc

開館時間: 10:00～17:00

(11～3月: 16:00まで)

休館日: 毎週水曜日 12月29日～1月3日

入館無料